

信楽中学校区の学校再編に係る保護者説明会WEBフォームに寄せられたご意見・ご質問への回答について

いただいたご意見やご質問のうち、個人が特定される可能性がある情報等は削除しております。

番号	いただいたご意見等	ご意見等に対する教育委員会の考え方
4	<p>・本再編計画の意図について、「子供たちにより良い教育を提供することを最優先」とご説明いただきましたが、再編という手段が「より良い教育」に繋がるという点において、説得力が薄いと感じました。再編により一人の教員が受け持つ児童数は増え、多くの児童は通学時間も長くなります。こうしたデメリットも想定される中、なぜ再編が子供たちにとって良いことなのか、デメリットを上回るメリットがあるのかについて、過去の事例や数値的な根拠に基づいた、より深掘りした説明が必要だと考えます。</p> <p>・再編の理由として、財政面や教員不足などの課題について言及がない点には違和感を覚えました。人口減少に伴う税収減や、市内の他校との教育コスト（児童一人当たりで充てられる予算）の格差等が理由であれば、保護者としても納得できる部分はあります。しかし、そうした現実的な課題を伏せたまま「子供たちのため」という大義名分のみを強調されると、かえって不信感を抱いてしまいます。財政面や人員確保などの現実的な問題があるのであれば、それらも含めて総合的にご説明いただくべきではないでしょうか。</p> <p>・通学手段（スクールバス等）の確保は、本計画を進める上での必須条件としてお考えいただきたいです。この点について、ある程度現実的かつ具体的なプランが示されない限り、保護者としては再編を前向きに捉えることはできません。</p> <p>・再編のスケジュールについても懸念があります。通学手段を含め、現時点で未確定の要素が多い中で、提示された期間内で本当に実現可能なのか疑問が残ります。不安を払拭するためにも、より具体的で現実的なスケジュール（ロードマップ）を提示していただきたいと感じました。</p> <p>・個人的には、昨今の少子化等の状況を鑑みると学校再編は避けられない課題であると理解しており、決して否定的な立場ではありませんでした。しかし、今回の説明会では納得のいく十分な説明が得られなかったため、現時点では本計画に対して懐疑的な立場を取らざるを得ません。今後のより丁寧なご説明と情報開示を要望いたします。</p>	<p>現在、信楽中学校区に設置している5校中3校で複式学級の編制が必要な状況となっており、近年中には、信楽小学校を除く4校で複式学級の編制が必要になると見込まれています。市内において、令和7年度の複式学級の編制は小原、朝宮、多羅尾、そして甲南第三小学校が対象となっており、信楽中学校区における各校の小規模化が特に顕著な状況です。</p> <p>複式学級とは、児童数が2学年合計で16人以下の場合、2学年で1学級を編制する制度であり、1人の教員が同じ授業時間の中で、2学年分の指導を同時に行う必要があることから教員への負担も大きく、また、子どもたちにとっても負担が大きくなります。このことから、全国的な事例においては、複式学級の編制が必要となることを機に学校再編を進められるケースも多くみられます。</p> <p>これまで、市では複式学級の解消や、授業時の複数学年同時授業を解消するために、市費講師を採用し、子どもたちや教員の負担軽減を図ってきましたが、全国的な教員のなり手不足の影響により、年々その採用も困難となってきている状態であり、子どもたちや教員が安心して授業を受けられる、また授業を行うことができる環境を整備するためにも、学校再編により、一定の人数の集団の確保が必要であると考えています。</p> <p>また、ご意見をいただいております、児童一人当たりで充てている予算等の比較については、第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）24ページに資料として掲載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>スクールバスについては、運行を見据えて検討を進めており、考え方や具体案については、当日の説明資料25ページから27ページでお示ししております。検討を進める中で、運行経路案についても作成しているところですが、実際の運行経路や集合場所等については、保護者の皆様等のご意見をお伺いし、調整を行う必要があると考えており、新たな再編校を設置するにあたり、その他の事項も含めて、今後設置する学校再編準備委員会において、ご検討・ご調整をいただきたいと考えております。</p> <p>今後も引き続き保護者の皆様や地域の皆様へ、丁寧なご説明に努めるとともに、学校再編に関する情報をしっかりとお伝えしてまいります。</p>

1回目の説明会に出て、意見を送りました。
小学校の編成には反対しております。

まず、2回目の資料でスクールバスについて、具体的な経路などの記載がありました。
スクールバスの話が少しでも進んだのかと思いきや、あくまで案であること。

まだ確定事項ではないんですね。

予定では令和10年に統合ですよ、もうすぐそこまで迫ってきてるのに、まだ具体的な話になっていないスピード感に驚きです。

先ほど回覧板で、運転手不足による甲賀市のコミュニティバスの廃線、減便のお知らせを見ました。こんな状況の中、朝の通学時間帯に何台ものバスを動かすことは可能なのでしょうか？

10年前の小学校再編成は反対されたあと、そこから何の検討もなく、ここまできたんだろうなと感じます。

親としては子供を安全に、無理なく小学校に通わせたいです。

スクールバスの確約がない限り再編成には反対し続けます。

また我が子は4月から年長です。予定通りいくと1年生は雲井小学校、2年生からは統合された信楽小学校になります。

現在雲井小学校は制服です。2年目から制服なのか、私服なのかももちろん決まっていません。体操服も違います。

たった1年のために制服を買うことになる可能性もあるなんて勿体無いなと思ってしまいます。

果たして購入時期までにこの統合の話は進んで、数年後どうなっていくのか決まるのかな？と疑問です。

本当に小学校を統合するのであれば、いまのスピード感では子にも保護者にも負担です。

ここから10年計画で徐々に統合を決めていくのもいいのではないのでしょうか。

暖かくなり、放課後雲井小学校のグラウンドにたくさんの子が集まり遊んでいるのをみかけます。

この辺りは公園などもなく、唯一みんなで遊べる場所なのではと思います。

廃校になり、整備されなくなり、子供達の遊ぶ場所がなくなるのは悲しいことです。

雲井学区には子供達まだいます。

小学校残してほしいです。

まず、スクールバスの運行の件についてお答えいたします。

保護者の皆様への説明会でもご説明いたしましたとおり、現在、再編により通学距離が延びることとなる地域の児童については、スクールバスの運行を主として調整を進めているところです。説明会では運行ルートの方についてもお示しいたしましたが、毎年、スクールバスを利用する児童数や居住状況が変わるだけでなく、集落内の狭い道や急な坂道を運行することが想定されることから、集合場所や運行経路等については保護者の皆様等との調整が不可欠であると考えております。このことから、令和8年4月に設置する学校再編準備委員会においてご意見を伺い、調整を進め、保護者の皆様や子どもたちに安心して通学いただける環境を作ってまいりたいと考えております。また、運転手の確保につきましても、バス運行会社への委託だけでなく、市直営の実施も含め、あらゆる手段、運行手法により確保してまいりたいと考えております。

次に、ご心配いただいている服装の件についてです。

こちらにつきましても、小学校ごとに「標準服」と「私服」の採用状況が異なっております。それぞれにメリット・デメリットがあり、保護者の皆様の間でもご意見が分かれることが考えられますので、スクールバスと同様に、学校再編準備委員会においてご意見を伺い、調整したいと考えております。調整結果については、可能な限り早く保護者の皆様にお伝えし、過度な負担とならないようにするとともに、再編前後においては柔軟な対応を行ってまいりたいと考えております。

最後に、現在、信楽中学校区に設置している5校中3校で複式学級の編制が必要な状況となっており、近年中には、信楽小学校を除く4校で複式学級の編制が必要になると見込まれています。市内において、令和7年度の複式学級の編制は小原、朝宮、多羅尾、そして甲南第三小学校が対象となっており、信楽中学校区における各校の小規模化が特に顕著な状況です。このことから、子どもたちが安心して授業を受けられる、また教員も安心して授業を行うことができる環境を整備するためにも、信楽小学校の改築時期に合わせた学校再編により、一定の人数の集団の確保を進めることが必要であると考えています。